

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会スポット
- 3面 読者のページ/まんが/短歌
- 4・5面 COP28の成果と課題/ジェンダー講座/ホットライン
- 6面 被災地の声/母の歴史
- 7面 新婦人の活動/主張/地域で支える



千葉・船橋市 大野弘子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

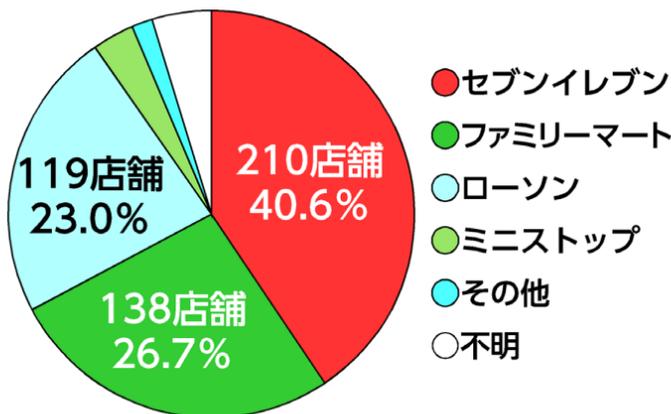
コンビニに「成人誌」が復活？

全国のコンビニ517店舗3日間緊急プレ調査

2023年12月10、11、12日実施

置いてなかったのは24店のみ

コンビニ調査の「声」より
 ・公園敷地内のコンビニに、こんなにたくさん置いてあり驚きです。
 ・ビジネス誌と並んで、ずらっとありました。他の雑誌を手にとろうとしても、目に入ります。
 ・生活の場で堂々と売られていることに、がくぜんとした。



新婦人が緊急調査

調査は、2023年12月10〜12日にインターネットを使って実施し、全国からたちまち517店舗の実態(左)が報告されました。雑誌の有無、陳列のようすのほかに、次のような感想が…。

○だれもが利用するコンビニで、女性の尊厳や品格をおとしめるものが公共の場で当たり前並び、消費されている、性暴力を「娯楽」として容認する風潮に思えてなりません。女性に対する性

全国のコンビニエンスストア(以下コンビニ)からなくなったはずだった「成人誌」が、最近、戻ってきていませんか。インターネット報道番組「ポリタス」から新婦人に出演依頼がきたことをきっかけに、「コンビニに「成人誌」が置かれているかどうか緊急調査をおこないました。



子ども向け商品と並んで「成人誌」が(写真は加工)

さっそく大手3社へ

調査結果をもとに、1月、中央本部は業界大手のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートの本社を訪ね、各社担当者と懇談、要請しました。

各社とも、各都道府県の青少年育成条例で示される「成人誌」は取り扱い

暴力を容認させ、犯罪だという意識を低くすると思う。
 ○今まで嫌だけど、なんとなく過ごしてきてしまった自分に反省。ひどすぎる。これが当たり前前の世の中だと、子どもたちに伝えたくない。

ポリタスTV に新婦人が出演！

<2面へ>

ポリタスTVとは…インターネット報道番組。主にYouTubeで公開。今回のテーマは前後編で、1月20〜28日の無料期間中このべ1万5000人が視聴。現在有料配信中



ポリタスTV司会の水野優美さん

番組に出演した西川副会長(左)と池田次世代と子ども教育部長

2024年新婦人「春の行動」
 (3月8日〜4月10日)

<2面、7面参照>

で当たり前前の存在です。一方で、インターネットなどデジタル媒体の普及の影響を受け、コンビニ雑誌コーナーの売り上げは「2018年と比較して半減(ローソン)など、減少傾向は顕著です。しかし、中高年層の雑誌の売り上げはほぼ維持されており、いわゆる「成人誌」の購入層と年代がほぼ重なるといえます。

2018〜19年にかけて新婦人の運動もあって、一度はコンビニから姿を消したはずだった「成人誌」が、「内容が過激になればなるほど売れる」というのが出版社の言い分(ローソン)と、店頭に戻ってきている驚きの現状が見えてきました。

現在、コンビニ各社は企業として、持続可能性を追求しています。<2面へ>

やSDGs推進の担当部署を置き、「まちの安全・安心の拠点」としてのとりくみや、「子ども店長」など小中学生の職業体験の受け入れもおこなっています。雑誌コーナーの現状について、業界最大手のセブンイレブンは、「問題がないわけではないが、小売店の立場から出版社にいわゆる『成人誌』は販売できない、と圧力にならないように配慮しており、取り扱いをやめることはしない」と回答。

新婦人側からは調査に寄せられた、女性の尊厳をおとしめる表紙の「成人誌」が並ぶことへの拒否感、嫌悪感の声を伝え、「だれかの尊厳を踏みつけてまで利益が優先ですか」と、さらに質問

